

株式会社ウフル

ワーケーション先	和歌山県和歌山市
日程	11月26日～28日
参加者数	3人
ワーケーション内容	・和歌山市役所職員と、和歌山市の観光や地域活性化の課題、生徒評価にAIを導入することなどについての意見交換 ・七曲市場の代表理事や北ぶらくり丁商店街の方々から、商店街の課題や魅力などについてヒアリング、現地視察 ・市内の老舗企業との意見交換と、弊社支援の提案 など
参加理由	・地方自治体のDX支援と地域課題の把握：当社が推進する地方自治体向けのデジタル化支援（DX）において、特に少子高齢化に伴う人手不足や、商店街の活性化といった実情を現地で直接伺い、具体的な支援の可能性を模索するため。 ・地域企業との連携強化：地域貢献意識の高い地元企業や経営層の方々と対話し、多角的な視点から地域課題を捉えることで、当社の技術や知見を活かした新たな価値創造のきっかけをつくりたいと考えたため。
訪問して感じたワーケーション先自治体の魅力	和歌山市は、歴史ある商店街や伝統的なものづくり企業が息づく一方で、新しい技術の導入やチャレンジに対しても非常に前向きなエネルギーを感じる自治体です。 今回の滞在では、七曲市場や北ぶらくり丁商店街といった歴史ある場所を訪問したり、地元老舗企業の皆様、教育研究所の所長と膝を突き合わせて意見交換を行ったりしました。 都市部へのアクセスも良く、豊かな歴史と現代のビジネス課題が共存する環境は、ワーケーション先として非常に刺激的でした。



今回のワークショップで
得た気づき

本プログラムを通じて、自治体の全面的な協力のもと、表面的な観光では決して触れることのできない地域課題に直接向き合うことができました。

現場では、商店街の活性化や伝統産業の継承、教育現場の負担軽減など、多岐にわたる課題に対し、AIをはじめとする最新テクノロジーを積極的に活用しようとする変革への強い意欲を感じました。

一方で、導入したツールを現場の運用に落とし込み、使いこなすためのデジタルスキルの乖離や、そのスキル向上を牽引する専門家・講師の不足という切実な壁も浮き彫りになりました。

こうした実情を深く理解できたのは、自治体がハブとなり、地元の商店街理事長、老舗企業の経営者、教育関係者といった多様なステークホルダーとの対話の場を設けてくださったからにほかなりません。自治体を経由して地域に深く入り込むことで、地域の未来を共に創り上げる「パートナー」としての立ち位置を模索できました。

本事業に参加した感想

3日間、非常に濃密で有意義な時間を過ごさせていただきました。訪問させていただいた地元企業の皆様は、「人口減少」や「過疎」といった言葉から一般的に連想されるネガティブなイメージとは真逆で、活力にあふれた方ばかりでした。

貴重なお時間を割いて共有いただいた事業課題に対し、今後どのようにお返ししていけるのか。現地滞在中はもちろん、戻った今も強く意識しております。会社員としてだけでなく、一個人としても、継続して考え行動に移していきたいと思います。

